

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2020年 第24週（6月8日～6月14日）

今週のコメント

～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少」

第24週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は618例であり、前週比18.4%増であった（2019年 第24週 4,648例、前年比 86.7%減）。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、手足口病の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.67、0.61、0.48、0.10、0.09であった。

感染性胃腸炎は前週比12%増の327例で、南河内2.81、大阪市西部2.10、大阪市南部2.00、泉州1.80、三島1.65である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は29%増の94例で、泉州0.95、三島0.82、北河内0.69、中河内0.55、南河内0.50であった。

流行性角結膜炎は前週比67%増の5例で、北河内0.33、南河内0.25、大阪市北部0.20、泉州0.17であった。手足口病は20%増の20例で、大阪市南部0.28、大阪市東部0.20、中河内0.15、大阪市北部0.14であった。

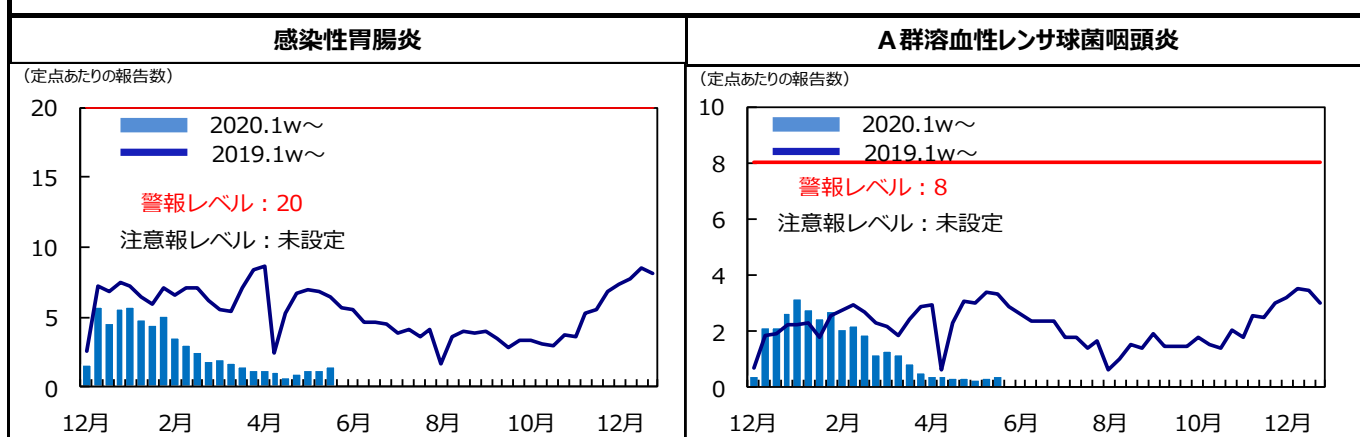


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2020年 第24週6月8日～6月14日）

第24週の順位	第23週の順位	感染症	2020年 第24週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第24週の 定点あたり 報告数	2020年第24週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	1.67	12%増	5.61	10-14歳_17%
2	2	突発性発しん	0.61	29%増	0.49	1歳_54%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	29%増	2.86	20歳以上_17%
4	6	流行性角結膜炎	0.10	67%増	0.29	20歳以上_100%
5	5	手足口病	0.09	20%増	10.05	2歳_33%

（突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。）

第24週のコメント

～レジオネラ症～ 2019年の報告数は133例でした。

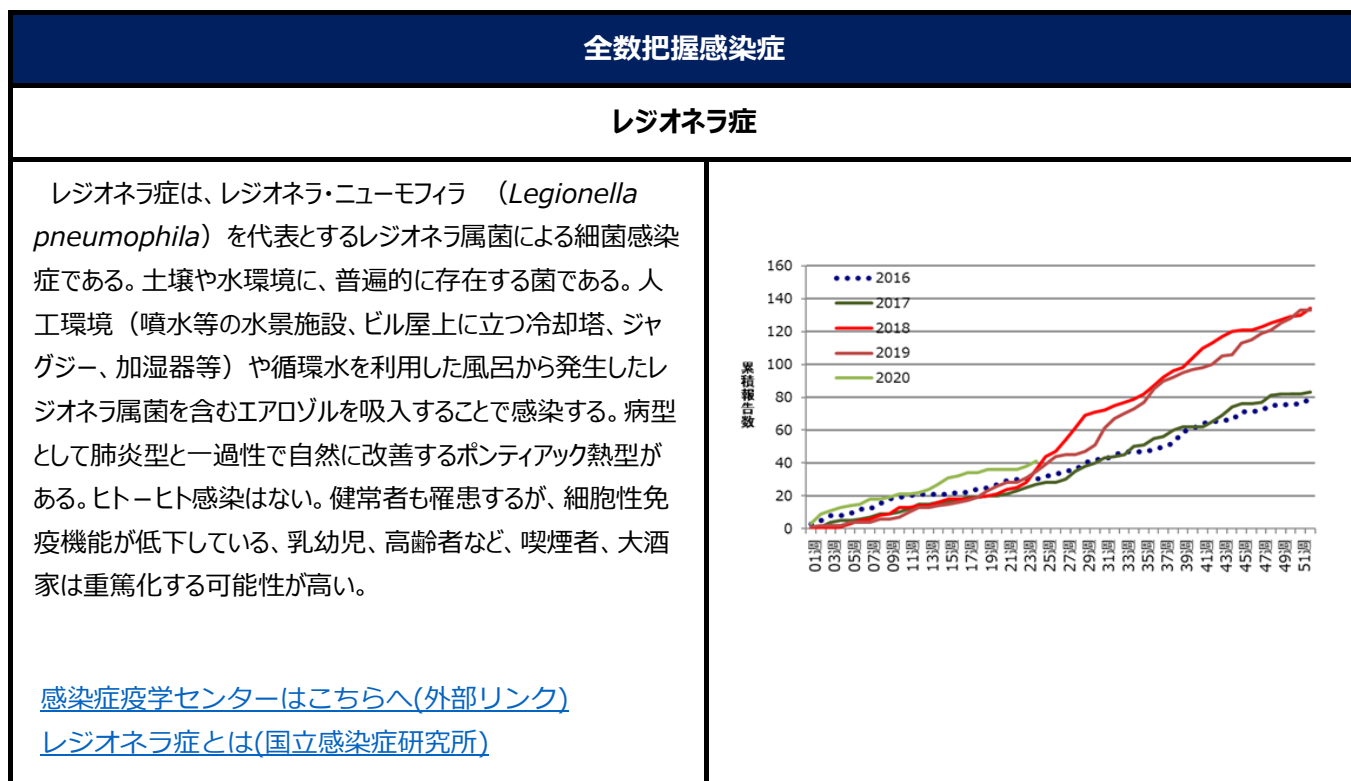


表 2. 大阪府全数報告数（2020年 第24週6月8日～6月14日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】発生動向調査＞全数報告 をご覧ください。）

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6	2					1		3	24
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	3			1				1	1	41
5類感染症	急性脳炎	1					1				13
	後天性免疫不全症候群	3			1			1		1	44
	梅毒	9		1	1					7	422
	百日咳	1								1	100
結核 (2020年4月分)	結核 新登録患者数：96名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 37名) (府内累積報告数 493名、内 肺・喀痰塗抹陽性 181名)										
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	2									1787

新型コロナウイルス感染症の集計は、6月8日から6月14日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

(2020年6月16日 集計分)